

2 職場体験学習の指導計画（案）

新潟市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会

1 指導計画（案）の作成に当たって

新潟市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会では、平成17年度の実施校10校のプログラムを集約し、さらに数種の文献等を参考にして、今後、中学校において3日程度の「職場体験学習」を実施する際の指導計画（案）を提案してみる。

「職場体験学習」及びその事前・事後指導等は、「総合的な学習の時間」で実施することを原則として記述した。しかし、（案）の中には特別活動（学級活動）で実施される「進路指導」の内容も含まれており、合計時数の53時間全てを「総合的な学習の時間」から充てるということではない。

実施に当たっては、各学校の実態に応じて工夫していただきたい。

参考文献

職場体験ガイド（文部科学省・平成17年11月）

中学生活と進路（日本進路指導協会、新潟県中学校長会編集委員会編・平成17年4月）

職場体験プラスαの生き方学習（堀川博基著 実業之日本社・平成16年4月）

2 職場体験学習（事前・当日・事後）の指導計画（案）

(1) 学習の段階と配当時間について

学習の段階		配当時間	備考
I	オリエンテーション・レディネステスト・適性の理解	4時間	事前学習1
II	職業講話会	7時間	事前学習2
III	保護者説明会	(1.5時間)	
IV	マナー講習会	3時間	事前学習3
V	体験職場の研究	8時間	事前学習4
	職場体験学習当日	18時間	6時間×3日間
VI	体験まとめ・個人レポート	4時間	事後学習1
VII	体験まとめ・グループレポート	6時間	事後学習2
VIII	発表会	3時間	事後学習3
時数総合計 (保護者説明会の時間は含まない)		53時間	

(2) 学習段階別の指導の実際

I オリエンテーション・レディネステスト・適性の理解（事前学習1）

時間	学習の内容	学習のねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	オリエンテーション	○職場体験学習のテーマ・ねらいを理解する。 ○学習計画を知る。	①問題点を指摘する。 ・体験の不足 ・地域社会（他者）とかかわる機会の減少 ②学校のテーマを提示する ①具体的な学習計画・活動内容を説明する ②個人テーマを設定させる	◎情報活用 ◎情報活用 ○将来設計
2	職業レディネステスト（※）を実施する	○基礎的志向性・職業興味・職務遂行の自信度	①テストのねらいを説明する ②各自で回答・分析させる	◎情報活用

		等を知る。		
3	自分の適性を理解する	○レディネステスト結果と班内での相互評価を受けて、自分自身を知る。	○班内で互いに長所を知らせ合い、前時のレディネステスト結果と合わせて自分自身を分析させる。	◎人間関係形成 ○情報活用
4		○職業の適性と自分の特色を合わせて考える	○自己紹介文を書かせる。	◎情報活用

※職業レディネステストに関する問い合わせ先

新潟市教育委員会学校指導課 進路指導担当指導主事

新潟労働局職業安定課「小中高校生向けの職業意識形成支援事業」担当

II 職業講話会（事前学習2）

時間	学習内容	学習のねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	関心のある職業について調べる	○関心のある職業を意識させる。	① 話を聞きたい講師（職業）を決めさせる。	◎将来設計
2		○進路情報の探索方法を知り、講師の仕事内容を調べる。	① 講師の職業について、情報を収集する。	◎情報活用 ○将来設計
3			② 疑問点を整理させる。	
4	学校に社会人講師を招き、話を聞く。	○社会人との交流をとおして、職業に関する興味・関心を深める。	○働くことについての疑問を積極的に解決させる。	◎人間関係形成 ○情報活用
5				
6				
7	講話会から学んだことをまとめる	○関心のある職業を再認識し、これを深く知ることにより意欲をもつ	①当初の疑問と得られた回答を柱に、感想をまとめさせる。 ②お礼の手紙を書く。	◎将来設計 ○情報活用

※職業講話の講師に関する問い合わせ先

新潟市教育委員会学校指導課 進路指導担当指導主事

III 保護者説明会

時間	説明内容	ねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1.5程度	保護者に対する説明と協力要請	○職場体験学習の趣旨の理解 ○職場体験学習への協力依頼	① 教育計画上の位置付けの説明 ・学習指導との関係 ・労働との区別 ・安全面の備え ②保護者の関わり方の説明と依頼 <当事者として> ・体験先への依頼と決定 ・体験先への礼状 <評価者として> ・日誌の記入 ・発表会への参加	

IV マナー講習会（事前学習3）

時間	学習内容	ねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	講師から実技指導を受ける	○職場でのマナー（身だしなみ、服装、挨拶、電話、接客の仕方など）を知る	①自分の姿や振る舞いに対する客観的評価を受け入れさせる。	◎人間関係形成
2			②進んでコミュニケーションを図ろうとする態度をもたせる。	
3	講習成果を確かめる	○自分のマナーを見直す	○異年齢の他者とかがわろうとする意欲を育てる。	◎将来設計 ○人間関係形成

※マナー講習会の講師に関する問い合わせ先

新潟市教育委員会学校指導課 進路指導担当指導主事

V 体験職場の研究（事前学習4）

時間	学習内容	ねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	体験する職場を決定する	○職場体験学習のねらいを理解する。	①職場体験から自分が学びたいことを考えさせる。 ②職場の方が生徒を受け入れる際の気持ちを考えさせる。	◎将来設計 ○人間関係形成
2		○希望業種ごとにグループを編成し、具体的な希望体験先を絞る。 ○訪問希望職場に受け入れを依頼する。	① 個々の目的を明確にさせてグループをつくる。 ② 体験先リストを提示する。 ① 依頼マニュアルを用意する。 ② 個別に予行指導を行った後、依頼させる。 ③ 所在地、担当者、交通機関等を報告させる。	◎意思決定 ○将来設計 ◎人間関係形成 ○情報活用
3	体験する職場（職業）に関する情報を収集する	○体験する職場について調べ、個人テーマを設ける。	①個人の課題・テーマを設定させる。	◎情報活用 ○将来設計
4			②職場体験に対する自分の考えを表現させる。	

5	直前の指導	○職場体験の約束事項を再確認する。	① 体験内容に関すること ・服装, 持ち物 ・体験(開始・終了)時刻, ・交通手段, 経費 ② 安全, 緊急時の対応等に関する こと ・体調不良で欠席の場合 ・通勤途上の事故の場合 ・体験中の事故の場合 ③マナー等に関すること ・挨拶, 言葉遣い ・体験中の写真撮影 ・秘密保持の義務	◎将来設計 ○意思決定
6				
7	体験職場を事前訪問する	○体験内容や日程を確認して, 体験の心構えをもつ。	①事前訪問マニュアルを用意する。	◎人間関係形成 ○情報活用
8				

VI 体験まとめ・個人レポート（事後学習1）

時間	学習内容	ねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	個人レポートを作成する	○職場体験学習をふり 返し, ・抽象的な体験を具体的な自分の力に変える。 ・自分のテーマに対する結論を導く。	① 事前学習で収集した情報と, 体験で得た情報との異同を考えさせる。 ② 体験学習をとおして自分自身の中での変化を盛り込ませる。 ③ 私の結論を述べさせる。 ④ 表現方法の工夫より, まず内容を大切にさせる。	◎意思決定 ○将来設計
2				
3				
4				

VII 体験まとめ・グループレポート（事後学習2）

時間	学習内容	ねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	グループで, 発表用資料（ポスター, プレゼンテーションスライド）を作成する	○「私たち」が職場体験学習から得たものをまとめる。	①「私たち」と社会, 「私たち」と異年生の他者について意識させる。	◎情報活用 ○将来設計
2				
3				
4				
5	発表会に備える	○効果を考えながら発表の準備を行う。	① 体験全体が理解できる構成を意識させる。 ② 変容ぶりが分かる発表内容を意識させる。	◎人間関係形成 ○情報活用
6				

VIII 発表会（事後学習3）

時間	学習内容	ねらい	指導上の留意点	職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連
1	職場体験学習の成果発表会を開く	○個々の生徒の活動内容の共有化を図る。	①複数の生徒に共通に見られる内面の変化を自覚させる。 ②校外に発表会開催を案内（招待）する ・体験受け入れ先 ・保護者，支援組織 ・校区内の小学校	◎情報活用 ○将来設計
2				
3	学習のまとめ	○体験学習の成果の内面化を図る。	①学校のテーマ・個人のテーマに照らして，自分の成長を意識させ，これからの努力目標を掲げさせる。	◎将来設計 ○意思決定

※職業的（進路）発達にかかわる4領域との関連

領域名	領域の説明	領域に含まれる能力
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し，自己の個性を発揮しながら，様々な人々とコミュニケーションを図り，協力・共同してものごとに取り組む。	自他の理解能力
		コミュニケーション能力
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し，幅広く情報を活用して，自己の進路や生き方の選択に生かす。	情報収集・探索能力
		職業理解能力
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え，社会の現実を踏まえながら，前向きに自己の将来を設計する。	役割把握・認識能力
		計画実行能力
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに，その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み，克服する。	選択能力
		課題解決能力